

MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告



＼ 市民の声が動かした！ ／

中学校全員給食の実現へ 大きな一歩

「温かい中学校全員給食」を求める陳情が、10月5日の市議会本会議で全会一致で採択されました。議会が、中学校での全員給食の必要性を認めたことは、実現に向けた大きな一歩です。

委員会採択で拍手



審査を行っていた生活文教委員会(9月14日)で、全会一致で採択された際、傍聴していた多くの市民から歓声と拍手が起こりました(東村山市議会では、拍手をすることは認められていません)。

それほど、市民のみなさんが長年にわたって実現を願っていたという事だと思います。

委員会での採決の際には、すべての委員が討論で「中学校での全員給食は必要」という認識を示しました。

あとは市の決断

議会が陳情を採択したので、あとは東村山市が実施の決断をするだけです。

陳情には、「こういう方法で」とは示していません。実施の時期や方法を検討し、「いつからやるか」を決めるのは市と教育委員会です。議会の判断や市民の声を尊重し、早急に実施して欲しいです。

また、「どのような方法で実施するか」も重要な課題です。自校やセンター、親子方式など、多摩地域でも様々な方法で給食が提供されています。東村山市が、今後どのような検討をして、どの方式を選択するかを注目していきたいです。

さらにいえば、給食でのアレルギー対応も充実させることも必要です。

中学校全員給食の実現を契機に、給食でのアレルギー対応レベルを引き上げたいと思います。



補聴器の購入費補助を求める陳情採択



小中学生の医療費助成の所得制限撤廃



ホームページを開設しました！
<https://watanabe.jcp-higashimurayama.net/>



YouTubeやっています！→
チャンネル登録もお願いします！



諦めない！インボイス廃止へ

10月になり、いよいよインボイス制度がスタートしてしまいました。多くの方が、「中止してほしい」と声をあげ、「STOP!インボイス」が呼び掛けたオンライン署名は54万筆を超え、岸田首相に届けられましたが、岸田首相はその声に全く耳を傾けようとはしませんでした。

コロナと物価高騰によって、大きな影響を受けている中小企業や個人事業主のみなさんの商売に、追い打ちをかける事実上の消費増税は、今からでも廃止を決断すべきです。

先日開催された“つどい”で、宮本徹衆議院議員が「インボイスを強行するのは、更なる消費税増税の準備」と説明していました。増税は、私たちのくらしも日本経済も壊滅させます。

私たちは諦めません！

一緒に、「STOP!インボイス」の声を挙げましょう！

→オンライン署名にもご協力を。



Twitter



Facebook



＼困ったときは共産党に相談を／

生活保護は権利です。

年金が少ない、物価が上がって生活が大変など、くらしのお困りごとがありましたらいつでもご相談ください。

年金や仕事、持ち家があっても生活保護を利用することはできます。

市役所に相談に行く際の同行も行っています。

お気軽にお電話ください。

渡辺みのるTEL:070-2177-7629

■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室

日時：毎月第1水曜日(月により変更有)

※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

■しんぶん赤旗をお読み下さい！

日刊紙 月額3,497円

日曜版 月額 930円

お申込み、お問い合わせは

渡辺みのるにご連絡ください。

携帯番号：070-2177-7629

～渡辺みのる子育て日誌～

10月は運動会・文化行事シーズン。

最初の土曜日の3女の保育園最後の運動会に始まり、2週目には次女の運動会、3週目には長女の音楽祭と3週連続でイベント。

特に、3女の運動会は保育園最後という事もあり感慨深い。

年長組恒例となっているソーラン節を、家でも一生懸命練習している姿を見ると、「もうこの時期か」「これをやるという事は、もう最後なんだ」と。

今年は、次女も運動会でソーラン節。しかも、同じ中身。何という偶然だろう。

運動会が終わるとどんどん涼しくなり、冬に近づいていく。

今度は、冬のイベントに向けて準備をしなければ。